

衣川台^{冬子}だより

発行日 平成 24 年 2 月 10 日
発行者 衣川台自治会総務部
世帯数 337 世帯

衣川台自治会・衣川台環境維持管理組合・衣川台自主防災部

平成 24 年度 総会のお知らせ

開催日時 ; 平成 24 年 3 月 20 日(火・春分の日) 午後 1 時 ~

開催場所 ; 衣川台南自治会館

(総会議案書は 自治会会員 全戸に 後日お届けします)

心に残る一年でした

自治会会長 岡田 融 (10 組)

はや一年を振り返る時期となりました。

H23 年の自治会年度は、未曾有の大震災の発生と時を同じくしてスタートしました。この一年、内外の世相は激動して、報道は巨大震災と原発事故、そして世界の金融不安や、政変に終始しました。

わが衣川台は、開設三十有余年の歳月を重ねて、町は成熟の域に達しています。しかし 周辺環境は刻々変化する様相があり、その影響もあって、新たな課題が次々と生じてきます。断層に隣接する不安、老朽化する建造物、ご多分にもれず 少子高齢化現象、学区内の学園建設問題、行政の合理化に伴う対応など、懸案事項は山積しています。

H23 年度にあたり、自治会活動として、北倉庫の明け渡しと新倉庫の計画事業に大きなウェートがかかりました。防災面において運営やシステムに改革が進みました。人が町を作る。私たちは、人の絆、地域の連帯の大切さを東北に学びました。住民相互のふれあいを計るために、傘下団体との連携を深めるなどの動きを模索しました。これらは決して一過性にとどめず、永遠のテーマとして、衣川台の今後に活着してほしいものだと、念じながらの作業でした。

皆様のご支援に感謝します。ご期待には十分に答えるに至りませんでした。私にとって、心に残る一年でした。お礼を申し上げ、新しいスタッフに後事を托します。



私のこの一年

総務部長 平川 美智子(13組)

3度目の自治会役員の役目を終えて

環境保全部長 原田 隆司(7組)

環境保全部長として引き継ぎを受けた天神川清掃(春、秋)、琵琶湖一斉清掃、衣川台年末一斉清掃の他に、新連絡道路委員会と衣川台ふれあい推進連絡会の立ち上げ、さらに新倉庫建設に伴う臨時総会を含めた諸課題へ対処などでばたばたしましたが、いま振り返って見ればあつという間の1年間でした。

4回の清掃作業はいずれも天気に恵まれ、住民が力を合わせることで、短い時間で我々が住むまち衣川台とその周辺がすっきり、きれいになりました。多くの皆様のご協力、ありがとうございました。

仰木の里への連絡道路の工事(4年計画)が始まりました。工事の進捗状況を把握し、工事中の安全・安心に関連する住民の要望に対応することを目的とした、環境保全部長を委員長とする新連絡道路委員会を立ち上げました。この委員会は1年で交代する自治会および子供会の役員と、これまでの経過をよくご存じで4年間任に当たる旧連絡道路推進委員が融合する体制になっています。

夏祭りの始まりは私が自治会長の時の昭和 57 年ですが、30 年後のいま衣川台のふれあいの中心的な行事に育っていることを嬉しく思っています。10 ある傘下団体がお互いに理解し合い交流を深めるならば、多様で強い絆が生まれ育つであろうとの想いで、衣川台ふれあい推進連絡会を開催しました。

自治会役員が1年交代する体制でも、各年度の役員のがんばりに加え、課題によっては専門委員会を設置する等の知恵が有効に働き、30 余年にわたって何の問題もなく自治会が運営されてきました。衣川台自治会は、年齢構成の課題も克服し、時代に相応しい自治会であり続ける力強さを持っていると確信します。

一年を振り返って

文体部 有田 誠(1組)

この一年は短かった？ 長かった？ 両方とも Yes ! 文化、体育行事の一つ一つを思い出すと、あの時はこうだった、ああだった、準備はできたか、忘れていたことは無いか、と一日、時間が過ぎるのが遅く感じられ一週間が長かった。一つの行事が終われば次の行事がもう目の前に迫っていた。速い！前回の自治会役員で文体副部長をしましたが、ここ数年、自治会行事は夏祭りに参加する程度だった。今回は文体部長を拝命したものの、右も左もわからない浦島太郎状態、至らないところばかりだったはず、周りの皆様が温かく見守ってくださり、また支えてくださりやっと仕事が出来ました。

任期も残り少なくなりましたが定期総会・引継ぎまで全力で努めたいと考えています。

皆様のお蔭です有難うございました。

私はこの一年総務を担当させていただきました。業務のひとつに、広報、仰木支所、衣川台自治会などの回覧書類を数多く組長さん宅にポストインしてきました。最初の頃(今もあります)部数、組違いなどいろいろありました。そういった中、組長さんはその回覧類をその組の各戸に配布されて来ました。特に募金回覧は、それなりの気苦労があったと思います。こういった細やかな、気配りが自治会の底力だと感じながらいろんなポストに分厚い広報など投函して来ました。団地を歩きながらいろんなお庭を拝見させてもらいながら、お花めぐりも出来ました。役を通じて大勢の出会いがあり、想いも多い一年でした。三役、組長さん方々、いろいろと御協力いただきありがとうございました。

「1年をふり返って」

会計 岩城 悟(6組)

不慣れな役を引き受けてしまい、1年間どうなる事かと思っておりましたが、あつと言う間に過ぎてしまった感があります。会計にとっては最大の懸案事項であった「大津市への北倉庫明け渡しに伴う倉庫新設」費用の処理問題は、臨時総会にて「環境維持管理組合会計」で処理する事で承認され解決されました。倉庫新設費用約200万円は年間の自治会費とほぼ同額であり、一般会計では処理出来ませんでした。一般会計のうち「自治会会計」は年間通じての活動資金の確保、「自治会館維持管理会計」は今後の自治会館修繕費の確保が必要との理由からです。自治会の皆様方にご理解頂き感謝いたします。役目を1年間無難にこなせたのは、会長はじめ役員の方々に支えられ、会員の皆様方にご協力頂いたお蔭と思っています。本当に有難うございました。

南公園に「緑と彩り」

H23/6月に、会員の皆様にご協力を頂いた「緑の募金」運動に対し、苗木による還元が行われます。

衣川台自治会として、下記の通り申請しました。

- ① ドウダンツツジ(白)20本 (南公園フェンス沿い)
- ② フジ(野田藤) 2本 (南公園藤棚支柱脇)

植樹は、公園愛護会のご協力を得て実施しますが、市からの配布予定は3月中旬です。

植樹後は、どうか可愛がって下さい。

岡田



なまずコーナー

—その時どうする—

油の鍋に火がついたとき

1. 空気を遮断する

毛布や大きめのタオルなどを濡らし手前からかぶせる

消火に便利な商品 (通信販売で入手できる)

○初期消火布・・・ファイヤーストップ

日本ドライケミカルKK 製

○消火フラワー・・・火のついた鍋に投入する

磁石式で冷蔵庫などにつく



2. 水をかけない

H23年度防災部活動を振り返って

防災部事務局 牛尾 定勝(11組)

活動員制度を持つ防災部が発足して6年が経過したことから、そろそろ代替わりした方が良いとして活動員リーダの原田さんと統括班長の池田さんが揃って引退され、4月から青谷さんが活動員リーダに、私が統括班長の任に着きました。丁度懸案になっていた

- 1) 災害時要援護者支援体制確立に加え、
- 2) 活動員の増員
- 3) 災害時に各活動班の枠を超えた救援活動ができるよう、防災マニュアルを作成し、活動員への講習により防災技術・手順の共有化を図る
- 4) グループによる共助と活動員による共助の2本柱の強化を図ることとし、その一環として全体防災訓練をグループ主体で行う

というテーマを活動方針とし、進めてきました。その結果、

- 1) 要援護者支援は上記2本立て共助システムによって行うこととなりました。
- 2) 活動員は熟年130世帯に参加要請したところ25名の応募があり80名体制となっており、特に消火班、救出班、救護班の人員が充実されました。
- 3) 各活動班の協力を得て55アイテムのマニュアルと「備えよう」の部歌が作られました。活動員への講習は3回に分けて行われ、54名の方に受講頂きました。又、マニュアルは1冊の防災マニュアルファイルにまとめ、9月に全戸配布し、防災活動のツールとしました。
- 4) 全体防災訓練は9月25日に安否確認後、各組地域15カ所で行い、合計350名もの皆様の参加を得て、グルー

プでの共助意識増進がスタート出来ました。

5) 11月20日には集団避難訓練を兼ね、里東小グラウンドでの防災会防災訓練に67名が参加し、防災知識を深めました。

上記のように方針に沿って比較的円滑に成果が得られたのは、本部員、活動員、グループリーダのご協力に加え、過去6年間の活動によって培われた住民の皆様の防災意識の高さによるものと思われまます。このたびその事が評価され、7組原田隆司様が1月8日の大津市消防出初式で消防(地域防災活動)功労者として消防局長表彰されたことは、防災部全体の喜びです。H24年度も本部員は基本的に同じ体制で活動することになっており、引き続き皆様方にはご協力をお願いし、一歩一歩活動を進めつつ、いざと言う時に備えたいと思っています。

仰木の里への連絡道路 工事始まる

仰木の里への連絡道路建設は、23年度からの4年計画です。初年度の23年度工事内容について、市の道路建設課による住民への説明会が12月9日に南自治会館でありました。

説明によりますと、23年度の工事内容は、仰木の里側のS字部分の山の樹木の伐採と山の掘削で、2月に工事着工、工期は4か月程度(24年度に繰越し)です。樹木は現場で短く切断して仰木の里側から搬出されます。土も仰木の里側から搬出されます。ダンプが衣川台内を通ることはありません。

現在の歩道はそのまま使えますが、安全のために高さ2mの防護壁が仮設されます。警備員を仰木の里側の信号付近と通学路の階段下に配置するとのことです。

(新連絡道路委員会)

みどり会(衣川台老人クラブ)30周年記念式典をおえました みどり会会長 山口 信治

去る1月25日、衣川台老人クラブ(みどり会)の第30周年記念式典・祝賀会をKKRびわこホテルにて自治連合会長、老ク連会長、衣川台自治会長らのご臨席のもと盛大に挙行出来ました。式典にあたり、名ソプラノ歌手・藤原未佳子さんの祝いの歌と元NHKアナウンサーの飯田忠義さんの「琵琶湖周航の歌にまつわる2人の青春ドラマ」を2つの華を添えさせていただきました。くわえて目録、会議用テーブル10卓を自治会に贈呈させていただきました。二部の祝賀会にご来賓の方々を交え終始和かにお互いの懇親を深めることが出来ました。式典に当たり自治会より過分のお祝いをいただきましたことを記しお礼とします。ありがとうございました。



コピー機使用料の改定について

南自治会館に設置の「コピー機」につきまして性能劣化が進み「衣川台だより夏号」にて紹介の通り、H23/8月に更新いたしました。在来機は取得後年数が長く、既に償却は完了していましたが、この度の更新に伴い、リース料を含め、一部契約料金に変更があります。

つきましては諸般の事情を勘案し、役員会議にて検討の結果、下記の通り使用料の改定をお願いすることにいたしました。

何卒ご理解とご了承をお願いいたします。

- ① コピー機使用料 1枚あたり(従来)8円
[改定]10円
- ② 実施時期 H24年2月使用分より～
[自治会、傘下団体の料金は、別途設定]

衣川台年末一斉清掃



穏やかな冬の日の12月11日に、自治会館(2箇所)、公園(3箇所)、進入路(2箇所)、通学路、古墳周りを中心に衣川台年末一斉清掃を行いました。参加者は傘下団体を含め175名(子供41名を含む)、ゴミの量は135袋でした。住民が力を合わせることによって1時間ほどですっきり、きれいな衣川台になりました。ご協力ありがとうございました。7月の琵琶湖一斉清掃の時に比べると参加者は約半分でした。呼び掛けをもっとすべきであったと反省しています。

(環境保全部)

水道施設等の撤去工事 住民説明会開催

平成24年2月5日(日)午後7時より南自治会館において休止中の水道施設及びガス施設の撤去工事实施にあたり説明会が行われ、衣川台自治会12名の参加がありました。

担当課 大津市企業局浄水施設整備課 中井氏
施工業者 日下重機 日下氏
工事場所 第一加圧ポンプ場(北公園西側隣接地)
第二加圧ポンプ場(給水塔)
旧プロパン庫(旧自治会北倉庫)

工事期間 平成24年2月13日～平成24年3月16日(予定)
作業時間 午前9時～午後5時(予定)

解体工事中、施設周辺に防音シートを設置、騒音に配慮し散水により埃が出ないようにする。

大型車両通行は、通学の登校・下校時間をはずす、コーナミラーのない道路角に交通整備員を配置する。ゆるやかな坂道、くれぐれも徐行運転、安全第一であること。

総務部より

いろんなポストに投函しやすい新回覧ファイルを各組2セット配布いたしました。

平成24年度交通災害共済の加入申込み受付(1月31日まで)

住宅用火災警報器の普及に関するアンケート回収率49%

掲示板の管理について、掲示板に無許可で衣川台以外のポスターの掲示が時々ありましたので、掲示承諾印を捺印して、掲示する事にしました。

○募金ありがとうございました。

歳末助け合い運動 98,654円

退会の方 入会の方

森崎 健三 様(6組) ありませんでした。

和田 義一 様(15組)

おくやみ

小堀 駿 様(2組) 村上 友一 様(14組)

編集後記

冬号が最終号です、ご協力ありがとうございました。